

## 産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年1月21日(木) 午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年1月21日(木) 午前11時39分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
4番 佐々木雄司君      6番 保田 守君      8番 治徳 義明君  
14番 佐藤 武文君      18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
産業振興部長 是松 誠君      建設事業部長 杉原 洋二君  
産業振興部政策監  
兼建設事業部政策監 中山 教浩君      農 林 課 長 矢部 勉君  
商工観光課長 大崎 文裕君      地域整備推進室長 菊地 良典君  
建設 課 長 福圓 章浩君      上下水道課長 塩見 真康君  
赤坂支所 石井 徹君      熊山支所  
産業建設課長 砂子 武久君  
吉井支所  
産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      副 参 事 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（佐々木雄司君） 皆さん、おはようございます。

また、新年おめでとうございます。今年も皆さんと力を合わせて、一生懸命委員会運営をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

まず、協議事項1番目、事業の進捗についてであります。

産業振興部から御説明のほうをお願いしたいと思います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、産業振興部関係、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より御説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の1ページを御覧ください。

まず、事業の進捗状況の御報告でございます。

(1)でございますけれども、コロナ対策の農林業者支援金、毎月御報告させていただいておりますけれども、12月28日現在で交付決定件数27件、相談件数が89件となっております。これにつきましては、現状の情報を申しますと、まだまだ交付決定件数も積み上がっておるところでございますので、また折を見て、来月御報告いたします。

それから、(2)でございます。

農林課所管事業につきまして、関係資料を2ページから4ページまで添付させていただいております。

就農等支援センター事業の市場意向調査の業務でございますけれども、御覧のような状況でございます。就農等支援センターの機能と運営方法についての検討を行う資料作りを進めさせていただいております。

具体的には3ページを御覧ください。

3番の業務の概要に4つの項目、①から④がございます。事業スキームから事業計画、市場意向調査、総合評価でございます。

今回の御報告では③の市場意向調査でございますが、アンケートによります民間企業からの御意見、御提案の一部を報告いたします。

4ページを御覧ください。

4ページ、3の(1)事業に対するアイデアや提案、それから(2)の目的業務に対する提案、(3)の官民が連携した場合のメリット等について、それぞれの企業様の持つ技術などを活用する御意見などもいただいております。

また、(4)では本市が行う事業への参加意向など前向きな御意見も見られますので、今後はそれらの企業様を中心にしまして引き続きの情報収集等を行い、より具体的な事業提案をいただくように進めてまいりたいと考えております。

事業の進捗については以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課のほうの事業の進捗状況のほうについて御説明させていただきます。

産業建設常任委員会資料の9ページのほうをお願いいたします。

(1)がんばろう赤磐コロナ対策持続化支援金につきましては、12月28日現在で交付決定数792件、交付決定額が1億6,018万9,000円で予算執行率は約66%、また電話や窓口の相談件数は517件でございました。

続きまして、(2)がんばろう赤磐コロナ対策経営支援補助金の設備投資につきましては、12月28日現在で交付決定数24件、交付決定額1,527万3,000円で、予算執行率は約76%となっております。また、相談件数のほうは134件でございました。

なお、先月の委員会で御説明をいたしましたとおり、この支援事業には多くの事業者の方から御好評をいただいております。事業期間を延長し、再募集をかける対応を行っております。

資料の13ページ、14ページにチラシを添付しておりますので、御確認ください。

補助率などの事業内容につきましては、変更はございません。事業周知の徹底を図るため、事業名を変更して実施をさせていただいております。

9ページのほうへ戻っていただきまして、(3)採用力向上セミナーにつきましては、市内企業採用担当者向けセミナーでございまして、採用活動におきまして急激に活用の幅が広がっておりますオンラインでの面接、それから企業説明会等の仕組みを理解し、効果的な採用活動に対応できるスキルの向上を図ることを目的に、令和3年2月16日、オンラインで午前午後各1回、合計2回実施する予定でございます。

資料の15ページ、最後のページになりますが、こちらのほうにチラシを添付しておりますので、後ほど御確認いただけたらと思います。

9ページのほうへ戻っていただきまして、(4)商工観光課所管事業につきましては、資料の10ページに一覧表で掲載させていただいております。

山陽産業会館につきましては、一般競争入札で令和2年12月24日入札、12月28日に落札決定をし、株式会社メレックさんと令和3年1月8日付で契約締結をしております。

以上で説明を終わります。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

産業振興部の説明が終わったところですが、いつものように課ごとに今の件につきまして質疑をさせていただきたいと思います。

まずは、農林課の所管部分で質疑がありましたら、委員の皆さん方よろしくお願ひいたします。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 意向調査のことでちょっと教えてください。

112者が参加をした中で回答があったのが21者ということで、あまりにもちょっと前向きでないような企業が多いのかなと、その辺のところはどのように思っておられるのかということと、その中でも1者が前向きと書いてあるんですけど、私たちがアンケートの内容が、どういう内容を問い合わせて、いろいろ仕事としては、例えば農家のようなというか、県内の農機具のメーカーであったり、生産者であったりというのと全く違う仕事というのか、そのレベルの方にアンケートを出してるので、どういうふうな内容で回答があるのか、もし生産者の人が参加したいというようなのがあったとするならば、何かその支援センターの中に自分も入れてほしいとかというような意見なのかなと思うし、企業なり農機具メーカーなら、自分のところでこういう機械を持ってるんで、その中にこういうものを使ってやったらできるからというような考えで参加の答えがあったというようなことにも考えられるし、どのような調査内容なのかというのがもし分かるんなら教えていただきたいし、分からないとこの評価が我々にはできないのかなというふうに思うんですが、その辺についてのお答えをお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの金谷委員からの御質問でございます。

まず、意向調査、おっしゃるとおりです。112者ございまして、21者が回答されましたけども、やはり幾らかヒアリングも進めておりますけれども、やっぱりコロナの影響も結構多いものですから、回答もなかなかちょっと戸惑っておられるところもございまして、業績等はやっぱりかなり悪いところも、影響が出ているところも多いので、このような結果になったんだと思います。

それからあと、御質問のアンケートの内容なんですけれども、これ4ページにちょっと上から1、2、3、4と振ってあるんですけども、主にはこういったものです。やはり圃場エリアに対するアイデアや提案、それから目的業務に対する何かほかにも工夫や提案があるかどうか、それから官民がもし連携してやったりする場合の事業についてのメリットや特徴があればお願いしますと。それから、あとは参加意向でございますけれども、こういったところで、やはりおっしゃるように生産者、それから企業様、いろいろそのお立場が違うところがございまして、その違った中でやっぱり事業に参加してみたいなど、それは農業の推進、それか

ら新規の就農者を育てていくというふうな内容のことにももちろん触れていきたいとか、もう様々ございますけれども、これがうまいようにまとまりましたら、また改めてお示しさせていただきますと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 少し補足をさせてください。

先ほど農林課長の答弁の前段としまして赤磐市の農業振興基本計画、こちらをアンケートの中で112者へお送りしております。こういう当市の基本計画に沿った提案を求めるということで、様々な提案を受けるために、先ほど説明しました4ページの4項目ですか、大きな題目でアンケートを調査しております。

以上でございます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 結果はそれぞれあるかと思うんで、それはもうそれで結構なんですけど、アンケートということになると、どういうふうなアンケートの仕方をしてるのかということも大きく回答には影響してくることだろうと思うし、その聞かれてる内容が大枠的に、今おっしゃられたように、赤磐市の計画があるけど、その中であなたはどう思いますかとかっていうような、ファジーというか、ぼやっとした聞き方なのか、それぞれ本当に問題がある項目についてきちっと質問をして答えを求めているのか、そういうところについて、我々委員として、どういうアンケートがなされたのか、それは知るべきであろうと思って、その質問をしてるんですけど、答えはもうそれぞれの企業なり、それからまとめ方はお任せをするわけですけど、何を聞いているのか、どういう聞き方をしたのか、それをお知らせをいただいていたのかどうか、私がちょっと記憶になかったのかどうか分かりませんが、もしないようであればお示しいただくのが至極当然のことかなと思うんですが、いかがなものでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの金谷委員の御質問です。

詳しいアンケートの調査票っていうのは、もしかしたらちょっとお示ししてないかもしれませんが。これについては、また改めてお示しさせていただけたらと考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部課長、後ほど資料を御提示いただくというのはいいんですが、今口頭でどういったアンケートだったかというものの説明はできませんか。それが出れば、またそれに対して金谷委員のほうから疑問があれば出てくるでしょうし、そうやって応酬

することによっていろいろなものが明らかになったりするということなどもありますので、もし今口頭で説明ができるのであれば、口頭でちょっとこういう内容のアンケートを行いましたということで御説明いただけますか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、アンケートのお示しの仕方ですけれども、やはり赤磐市における農業の問題点、そういったものはもちろんアンケートの内容でお示しました。

それとあと、基本計画がございました。前年で作った基本計画がございましたけれども、この中には赤磐市の農業等もやはり今の現状っていうものが書かれてるんですけれども、そういったものをお示した上で企業様に御回答をいただいたという次第でございます。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

どういふものか、また見せていただければ、皆さんがそれなりに考えて、また質問をするというようなことにもなるかと思しますので、この件はそれで結構でございますので、できるだけ早くよろしくお願いをしたいと思ひます。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか質疑ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、農林課所管部分についてはこれで終わりたいと思ひます。

続きまして、商工観光課関係につきまして、委員さんのほうで質疑がありましたらよろしくお願ひいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、商工観光課のものにつきましてもこれで終わりたいと思ひます。

それでは、続きまして建設事業部のほうの御説明をいただきたいと思ひます。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 建設事業部事業の進捗状況につきまして、建設課、上下水道課、地域整備推進室、それぞれでございます。担当課長のほうより説明をさせていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の説明をさせていただきます。

建設事業部資料の1ページにあります1、事業の進捗状況に係る報告について説明させていただきます。

資料の3ページをお願いします。

この3ページには、令和元年度から令和2年度に繰越した建設課主要事業を記載しておりますので、御確認をお願いします。全ての工事発注を終えておりまして、まだ完成していない工事につきましては、予定工期内に完成させるべく進捗管理を行っております。

続きまして、4ページから6ページに令和2年度建設課主要事業を記載しておりますので、御確認ください。

記載しているとおり、ほとんどの工事発注は終えておりまして、予定工期内に完成させるべく進捗管理を行っております。ただし、他工事との工程調整、工法の検討、交通規制の緩和などの理由により、やむを得ず繰越しとなる工事がございます。この繰越しについての説明は、後ほどのその他の3月議会提出予定議案の中で建設事業部をまとめて部長から説明をさせていただきます。

続きまして、日古木大池修繕について、資料の7ページをお願いいたします。

写真1、左上の写真ですが、底樋のみ口締切工事と書いた写真です。

このとおり底樋の締切工事を行いまして、昨年12月25日にカメラ調査を行っております。その結果、写真3にありますとおり、管が木製の底樋であり、枝と思われる無数の突起物が確認されております。これによりまして管構成による修繕が不可能であるということが判明しました。今後は新たな工法として、推進工法での修繕を検討してまいります。

以上で建設課の説明を終わります。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） それでは、建設事業部資料12ページを御覧ください。

上下水道課関係の事業の進捗状況について説明します。

資料の13ページ、前年度から今年度へ繰越ししておりました水道、下水道事業の案件については、残り1件で完了となります。

変わります、資料は14ページ、15ページになります。

令和2年度の下水道事業については、山陽処理区、熊山処理区ともに現在地元の方との調整を図りながら工事のほうを進めております。工事に際しての日常生活への支障を最小限とするべく、交通規制などに配慮を行いながら工事を進めております。これにより一部の工事で若干の遅れ等により繰越しが見込まれるところです。

繰越予算の関係につきましては、後ほど部長より一括して説明いたします。

以上でございます。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） それでは、地域整備推進室より資料20ページの事業の進捗状況について説明いたします。

まず、(1)の事業の進捗状況につきましては、6ページを御覧ください。

前後して申し訳ございません。6ページの一番下の段、地域整備推進室の現在実施している今年度250万円以上の工事といたしまして、山陽6丁目旧県営住宅解体工事として3棟の解体の令和3年1月1日の進捗率は30%です。

20ページに戻っていただきまして、(2)赤磐市立地適正化計画策定について、第2回目の赤磐市立地適正化計画策定等検討協議会を12月24日木曜日に開催いたしましたので、報告させていただきます。また、その協議会での配付資料につきましては、委員の皆様は別冊でお配りしております。

以上で地域整備推進室の説明は終わらせていただきます。

○委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

建設事業部の説明が終わったところです。

それでは、先ほどと同様に課ごとに質疑のほうを受けたいと思います。

まずは、建設課所管関係で、委員さんのほうで質疑がありましたらよろしく願いいたします。

保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 日古木大池の底樋の改修というのは、完成はもう先延ばしになるのはいつ頃に、来期の、1年ぐらい延びるんですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 修繕工事につきましては、推進工法を今検討しておりまして、この工法で施工した場合にはもう今年の耕作までにはできませんので、令和3年度の秋以降の施工になりまして、令和3年度中での修繕を予定しております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○副委員長（保田 守君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 大変珍しい工法じゃったということを聞いたんですけど、その辺の説明をちょっと聞かせていただけたらと思うんですけど。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今検討しておりますのは、推進工法というものを検討しておりま



して、こういったものかといいますと、堤体、堤にトンネル状の穴を掘りまして、その穴に管を通して、上から掘ることなく底樋をつなげる工法……。

○委員長（佐々木雄司君） 違うよね。

○建設課長（福圓章浩君） すいません、管構成につきましては、今既設の管の中に新しい管を作っていく工法を予定しておりました。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 今までの古い管が大変珍しい構造でできとったというんで、それをちょっとお聞きしたいなと思ひまして。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今既設の底樋につきましては、木製の管になりまして、木をそのまま円形に組んで管の状態にした構造になっております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） こういう木をずっとこう円形に積んで、中を水が通ると。その木というのは長い、ちょっとふと思うたんじゃけど、昔の人はどうして接続部分をしとったのかな。これは分野がちょっと違うんかもしれんですけど、丸い木を組んで中を通すというのはよう分かるんだけど、1本の木を樋のこっちの部分から出口のどこまで長いのを組んどったんじゃろうか、それともこのぐらい組める木なら途中の接続はどうしとったんじゃろうかなと思ったりも、それは掘っていかにか分らん話かな。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今、日古木大池の底樋の延長は75メートル程度ありますので、1本の木ということはありませんと考えております。接続部分についても、そこまで詳細なカメラの結果が出ておりませんので、すいません、こういった工法で接続しているかはちょっと、すいません、分かりかねます。申し訳ありません。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 将来分かればじゃけど、貴重なやり方を、今にない貴重なことをしとんだと思うから、分かる部分は何か記録で残るような形にされたらいいと思うんだけど、その辺どうでしょうか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） どこまで分かるか分かりませんが、ほかの池の資料も調べさせていただいて、可能な限り調べてまいります。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほか何かありますでしょうか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 3番目の写真で見ただけではどうも何も私分からなくて、管がどうなっとるのかの、このとおりですと言われても、枝が出るとか、無数の枝と見られるものがあるというのが、どれが枝で、多分管の中に折れた枝なんかが入って詰まってなっとるんかなっていうふうに文章からは想像するんですけど、何がどうやっとなか、ちょっと教えていただけます。聞かれても、私も説明のしようがないんで。すみません、お願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 写真の③、底樋内部写真ということでお示ししておりますけれども、折れた枝ではなくて、その木にもうそのままの枝が、処理されていない枝が無数に出ておりまして、突起物、ちょうど真ん中あたりにある細い突起物が枝と思われるということです。枝の処理ができていない状態の木で底樋管を作っているということ、その写真では確認しております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原部長、補足説明できますか。

○建設事業部長（杉原洋二君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） この状況のイラストにつきましては、もう少し詳細を調査いたしまして、次回の産建委員会のイラストでもって説明できるようにさせていただけたらと思います。ちょっとこの写真だけでは分かりにくい点、反省をいたしております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 工法的に何か丸太を円形に並べてというような御説明を資料の打合せのときにしていただきましたけども、それを同じようにしていただけたら。

○建設事業部長（杉原洋二君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 通常このような際には、木製の管を組み立てるのに丸太を10本ぐらい束ねたような形にさせていただきます。その束ねた真ん中に隙間があるというようなイメージです。木につきましては、当然管を組み立てるわけですから、木材の性質上、真っすぐな杉とか、そういったものかなというのは推測をされます。また、カメラ調査の中でこういった材質までの判明はいたしておりません。

先ほど課長が申しました、この突起物が枝の部分になるのか、もともと節があった部分が水で痩せてこのようになったのかというところまで具体的には分からないという状態です。現在のところでは、ちょっとこの程度の説明になります。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

私たちは素人でございますので、例えば今の計画の底樋の管の口径は、丸木をこう重ねていて、そこを通るようにはしてるんだろと思うんですけど、どれだけの大きさがあって、その中に多分最初から枝が出てるようなものをそういう形では使わないであろうから、当然きれいに伐採した外の枝は取って管は作っとるんだろと思うんですけど、大きき的なもんとか、それからこの突起物がどこまで行って、突起物はあっても管の口径がありさえすりゃあ水は通るんだろと思うし、そこら辺のところは分かって、なるほど、だからこれはもう無理だなんて分かるようにしていただかないと、ただ写真でここへあって、今これがあるのは寸法も何も、例えば引き出し線がついて、これが何だとかというようなことがないようなものを出していただいても、僕らは素人なので分からないんで、またそれが分かるように一遍教えてやってください。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 御指摘ありがとうございます。

今回のときにそのような資料の提出をさせていただきます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

○委員（佐藤武文君） ちょっといいですか。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私が地元の区長にお伺いしているのは、今年の田植に日古木大池の、要するに落水ができないというようなことの中で、ポンプアップで今言う水を放水するんだということをちょっとお伺いしとんです。私ちょっと言われとることがよく分からないんですけど、ポンプアップでそういうふうな放水をして、田植にそれだけの要するに水が供給できるのかどうか、そしてポンプアップするのだったらどういうふうな、そのポンプアップする水をためるのかということが私はよく理解できなかったんです。そのことについて、分かる範囲で説明いただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 農業用水の取水につきましては、昨年度も7月に底樋管の異常が発生しましたので、その後は水中ポンプによる取水を行っております。

具体的には、水中ポンプの径が200のものを2台据付けまして、その水中ポンプを稼働させて農業用水を取水しております。農業用水につきましては、日古木大池、今年度はこの2月末に樋止めを予定しております、そこで樋止めをしていただいて水をためて、取水期に水中ポンプによる取水を今検討しております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 水をためるということがよく私理解できないんですけど、今、日古木大池は水が全然ないですよ。2月から水をためられるということの中で、この樋との工事の関連性については別に支障はないということですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 2月末で樋止めをして、水をためて耕作をしていただいて、また耕作が終わった9月、10月ぐらいから落水を始めて、修繕工事のほうを実施していきたいと考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 先ほど建設課長の補足でございますけども、佐藤委員御指摘の用水期に間に合うのかということですが、先般日古木大池の組合の会議のほうに、私以下出席をさせていただきまして、そういった水利の確保につきましては相手方と話し合いをして、合意に至ってるところでございます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

ないようでしたら、次に行きたいと思えます。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） それでは、ないようですので、これで建設課所管部分は終わりたいと思えます。

続きまして、上下水道課所管部分につきまして御質疑ございましたらよろしくお願いたします。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） それでは、ないようですので、上下水道課所管部分についてはこれで終わりたいと思います。

続きまして、地域整備推進室所管部分について質疑を行いたいと思います。ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで建設事業部所管部分について質疑を終了したいと思います。

続きまして、2番目、その他に入らせていただきたいと思います。

その他で、委員さんまたは執行部のほうから何かありましたら御発言をお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、産業振興部、農林課、商工観光課からそれぞれ御説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の5ページを御覧ください。

2のその他でございます。

3月議会提出予定議案について御説明いたします。

(1)令和2年度一般会計補正予算（第9号）では、果樹生産振興事業補助金及び経営体育成支援事業補助金の減額補正を予定しております。また、森林環境譲与税の基金積立金を追加しております。

次に、(2)財産区特別会計では、立木売払収入を追加しております。いずれも決算見込みによるものでございます。

続きまして、(3)令和3年度実施予定の主な事業でございます。

①一般会計でございます。農作物鳥獣被害防止対策事業は、過去3年間の事業実績を基に対前年9.9%増としております。

次に、農地集積促進事業でございますけれども、本年度事業実績の見込みを基に対前年0.8%減としております。

次の日本型直接支払事業は、本年度事業の実績見込みを基に対前年9%増としております。

それから次に、果樹生産振興事業は、農業者等の事業要望を基に対前年45.7%減となっております。

地域おこし協力隊事業は、新たに募集する隊員4名の活動に対する経費で、対前年2.8%減となっております。

次に、有害鳥獣駆除事業は、過去3年間の事業実績を基に対前年6.2%増としております。

次に、松くい虫等防除事業は対前年10.7%減としております。

最後に、②の財産区特別会計では、来年度の造林計画に基づきまして対前年21.1%増となっております。

3月の提出議案の関係は以上でございます。また詳細は来月の委員会等で触れてまいりたいと思いますので、次のひし形のその他がございますけれども、6ページの上のほうですけども、それについて御説明いたします。

まず、(1)地域商社でございますけれども、これは前回の委員会ですら少し御依頼いただいておりましたので御報告するものでございます。平成30年度をもちまして市の財政支援は終了しております。その後の運営状況についての御報告です。

お米の販売やハーブの試験栽培、英国庭園での農家フェア、ワークショップの運営等を行っているところでございますけれども、やはりこれも新型コロナウイルスの影響によりまして来客数が減少しており、令和2年におきましてはカフェやワークショップの運営は厳しい状況と聞いております。このような状況ではございますけれども、市と情報共有などを行いながら、今後も英国庭園を活用した誘客、農作物の販売促進に取り組んでいただけるようにお聞きしております。

それから、7ページの(2)果樹生産でございます。

マスカット・オブ・アレキサンドリア、シャインマスカット、パス・クラサンの栽培等に関係します状況でございますけれども、これも前回の委員会ですら御依頼をいただいておりますので、数字で比較した資料を添付いたしました。アレキサンドリアとシャインマスカットの栽培状況を比較しますと、かなり数字が逆の傾向となっております。それから、パス・クラサンについても生産数量もかなり少なくなっております。どの果樹におきましても生産者の年齢はかなり高い傾向となっております。

それから、8ページを御覧ください。

(3)美作市内の農場で発生しました高病原性鳥インフルエンザの対応でございます。

64万羽という大変大きな処分規模でございましたけれども、赤磐市におきましては県への協力として防疫対策の本部を設置し、消毒ポイントの運営業務に従事しました。12月に発生してからの経緯は、資料を御覧のとおりでございますけれども、処理は問題なく完了いたしまして、1月8日には市の本部を解散しております。

それから、その下の(4)地域おこし協力隊の退任についてでございます。

是里地区を主な活動拠点としておりました成田隊員が、任期満了に伴いまして、この1月末日をもちまして退任となりますので、ここで御報告させていただきます。

以上が農林課からの御報告でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課のほうでその他の御説明をさせていただきます。

資料の11ページをお願いいたします。

2、その他、3月議会提出予定議案についてでございます。

(1)の赤磐市地域経済牽引事業の促進区域に係る固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

こちらのほうにつきましては、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律、こちらのほうが改正されております。この法律に新たに条項が追加されたため、市の条例に表記されている部分、法律の条項の条項ずれを改正する必要性が生じております。こういったことから一部改正を行うものでございます。

続きまして、(2)令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）につきましては、まず企業誘致関連事業で企業誘致奨励金の決算見込みによる2,800万円の減額、それから施設維持管理事業につきましても決算見込みにより100万円減額、商工観光事業につきましても決算見込みにより1,519万円の減額を予定しております。また、竜天オートキャンプ場特別会計繰出金につきましては、コロナウイルス感染症対策実施によります利用料の減少に対応するため、491万9,000円の増額を予定しております。

続きまして、(3)令和2年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第2号）につきましては、先ほどの御説明のとおりでございます。

続きまして、(4)番、令和3年度実施予定の主な事業でございます。

①の一般会計につきましては、企業誘致関連事業8,486万8,000円は企業誘致による新規1者、増設1者が奨励金の対象となるため、この増加により前年比45%増、次に商工振興対策事業の3,489万9,000円、前年比1.6%の減でございます。

資料12ページのほうに移っていただきまして、施設維持管理事業につきましては3,906万4,000円、こちらのほうは経常経費以外の新規事業などの予算は6月補正予算での計上を予定しているため、前年比31.8%の減でございます。

次に、観光振興対策事業1,602万3,000円につきましては、こちらも経常経費以外の新規事業などの予算につきましては6月補正で計上を予定しているため、前年比39.8%の減です。

次に、地域おこし協力隊事業1,723万3,000円につきましては、現在3名の隊員を1名増員し、4名での活動を計画しておりまして、対前年比43.6%の増となっております。

次に、吉井川流域観光連携事業につきましては、観光振興対策事業への統合を予定しておりますので、皆減となっております。

最後に、②竜天オートキャンプ場特別会計につきましては1,801万5,000円、対前年比1.1%の減となっております。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） 部ごと課ごとに行きたいと思いますので、建設事業部分につきましてはこの後ということで、よろしく願いいたします。

それでは、農林課所管部分の今の御説明につきまして質疑がありましたらよろしく願いいたします。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） すいません、地域商社について確認させてください。市の支援は終わっているということなので、今さらという話なのかもしれませんが、ここを見させていただきますと、コーヒーを活用したり、力を入れていくみたいなことを書かれてますけれども、私、プレゼンをお聞きしたんです、この地域商社さんが立ち上がるときにですね。そのときに桃の香りのするコーヒーでまちおこしをするんですと、おしゃれな町にしていくんですと、こういうふうなプレゼンだったと記憶してます。赤磐市もおしゃれな町になっていくのかなと、こういうふうなイメージがずっとちょっと、そういう取組をやられるのかなと思ってたんですけれども、あるときに英国庭園の農カフェへ行かせてもらって、桃の香りのするコーヒーをお願いしますと言うたら、そんなもんありませんみたいな話でした。あのときのプレゼンの話、こういうふうな話だったんでしょうか、ちょっと教えていただければ。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） すいません、その当時ちょっと私もおりませんでしたので答えになりませんが、桃の香りのコーヒーというのはちょっと私も分からないです。申し訳ありません。

○委員（治徳義明君） すいません。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ちょっとほんなら基本的に教えてください。

ああいったプレゼンの中で物すごく主張されたことと違うことがあったときに、市は何も指摘はしないということなんでしょうか。桃の香りのするコーヒーはまた別でも構わんですけど、個別案件はいいですけど、プレゼンをされて、そういった御説明をされたことと全く違うようなことになっていったことに対して、市は支援をしているわけですから、それはもう不問に処すみたいな話なんでしょうか。ちょっとその辺の確認だけお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） プレゼンでやっぱり提案されたことは履行されないといけないと思います。ですけれども、その後やはり事業を進めていくに当たりまして、無理とか、支障があるとか、いろいろあった場合は市のほうにも当然相談等あったと思いますし、それを御説明していただいて、それが納得できる内容であれば、その条件を少しずつ修正していくこと等は



あると思います。私も今その事実は確認しておりませんから、ここでこうですと断言できるわけではないんですけども、このあたりはまた確認してみます。すみません。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 補足をさせてください。

さきの桃の香りのコーヒーにつきましては、申し訳ございません、今手持ちに資料がございませんので、明確な回答ができません。申し訳ございません。

それから、今のプレゼン、事業の推進でございますが、課長が申しましたように、当初の計画から年を追うごとにその内容が変更していく場合がございます、一般的なお話とさせていただきます。その中で市と協議しながら、大きな事業目的、これから逸脱しない範囲で変更をかけて事業推進をしております。

以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

○委員（治徳義明君） よろしいです。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかございますでしょうか、農林課所管部分です。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 果樹生産についての数字を出していただいていたんですが、ありがとうございます。私が再三細かいことを言うもんだからかもしれませんけど、出していただいて、今確かにこの表をざっと言っていたんですけども、まず赤磐市の農業生産の中で特に果樹の生産、果樹の中で全体で、じゃあどのくらいの売上げがあるのか、生産があるのかということの中のこういうぶどう関係、それから梨関係が占める割合というのがあるかと思えます。

それで、特によく分からないのが、いつもJAの数字しか出てなくて、JAに出荷されたところは当然把握されてるんだろうと思います。JAに出荷してるのは、全部が全部出荷されとるわけじゃないというふうに私は認識をしまして、JAで売れるものと売れないもの、それからJAで売らずにほかに売ったほうが良いというようなものがあるかと思えます。そこを的確に調査して、生産量なり、それから販売金額というようなものを把握しないと、本当の農業の振興政策というのは、僕は図れないと思います。そういうものをベースにした中で、どこかの企業にアンケートをとって、就農等支援センターを何とかしていくというようなところへは僕はつながらないのかなというふうに思います。

それで、例えばシャインマスカットのところを見ると99人の生産者と言うんですけど、一家の家での従業、それに就農してる人が、この数え方がどうなってるのか分かりませんが、多分御主人と奥さんとかというようなところで、このカウントは多分それぞれ1人ずつになるう

かと思うんですけど、そうすると1人当たりが1,600万円ぐらいの売上げになっているわけです。そうしたら、1,600万円、1人が売上げがあって、その利益を考えたら、あまりにも利益が出て、それこそ一般の例えば主婦であっても1,600万円売上げがあって、3割かそこらの利益が少なくともあると計算したら、四、五百万円の個人の要は給料になるのか、ほとんど利益ですわな。そうしたら物すごい、その後を継いで、絶対人は農家をやろうかなと、ぶどう農家をやろうかなと思うはずなんですけど、そこがどんどん増えないというのがよく分からない、この数字からすると。

逆に、マスカット・オブ・アレキサンドリアなんかを見たときには、市場ニーズがないのかもしれませんが、34人が作って1,100万円の売上げということになっていくと、それは当然アレキサンドリアを作ろうということにはならないということになるのかなと思いますけど、それで特にパスクラなんかで考えたときには、これ200万円で、それを3人で割ったら本当にこれなのかなと、こんなもので本当かわいそうな、これを唯一の産地だというふうに赤磐市が全国にアピールして、うちはパスクラの産地なんですということをいろいろPRしてんですけど、それにしてもあまりにもかわいそうなのかなというか、多分農業振興の中にはパスクラという名前が入ると思うんですけど、これ対応を考えないといけないんじゃないかと思うんですけど、ただ数字だけじゃなくて、何か考えがあるんでしょうか。ちょっとそれをお聞かせください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） まず、今金谷委員の御質問は2つあったと思うんですけど、前のほうのJAだけの数字ではないかとおっしゃるもので、もちろんこれJAにお聞きした数字でございます。実際に販売のやっぱりチャンネルが違う方ももちろんいらっしゃると思います。それらを細かく1つずつ拾うというのかなかなかかなりの労力が要るんですけども、労力が要るというか、全部が全部なかなか調べ尽くせれないところもあると思うので、この辺はちょっと今後の課題にさせていただきたいと思うんですけども、それとあとやっぱりアレキサンドリアは、僕も赤坂出身ですけども、赤坂は多いんですね、アレキの生産者の方。それで、やっぱり高齢化は進んでしまう。それからあと、風味なんかはすごいいいぶどうです。ですが、やっぱり市場のニーズっていうのがシャインマスカットにどんどん流れているというのは、やっぱり種がなくて、皮が薄くて、皮ごと食べれるというふうな、今の若い子たちが結構食べやすいような格好で、どうしてもシャインマスカットに偏ってしまっているのかなという気はします。出荷の人数なんかにおきましても、やっぱりこれは農協の部会の人々の個数になると思うので、これは実際に関わっている人数というのと、もっともつとに膨らんでいくんじゃないかと思えます。

それからあと、パス・クラサンですけども、これ本当に生産されてる農家さんの数を見る

と、もうじり貧ですよ。私が今ちょっとお聞きしてるのが、斗有のほうでも若手の農業者さんがパス・クラサンの幼木を植えたとお聞きしております。ですから、そういったことでパス・クラサンをやっぱりやってみようかなとおっしゃる方については、これからも農林課、それから支援センターのほうでも側面的なサポート等、できることはできるだけ行って、支援をしていきたいと考えております。

長くなりましたが、以上でございます。

○委員長（佐々木雄司君） そのほか何かありますでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 美作の鳥インフルエンザの対応について御説明いただいたんですけども、64万羽も処分というような御説明でしたけれども、ちょっと確認なんですけど、赤磐市は養鶏、何か所、何羽ぐらいあるんでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 赤磐市内には、大小で3か所あります。今、赤坂地内には2か所、それから熊山に1か所あります。それから、\_\_\_\_\_（14字削除）は卵のほうになると思うんですけども、そういうのでちょっと形態は違いますけれども、3か所でございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 何羽かは……。

○農林課長（矢部 勉君） 何羽かというのは、ちょっと今細かい数字は持っておりませんので。

○委員長（佐々木雄司君） そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、農林課所管部分について、これで終わりたいと思います。

休憩をとらせていただきます。

再開は、11時10分といたします。

午前11時1分 休憩

午前11時10分 再開

○委員長（佐々木雄司君） 再開いたします。

産業振興部の農林課が終わったところです。

続きまして、商工観光課のその他の項目の部分につきまして、質疑がありましたらよろしくご願いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで産業振興部所管部分については終わりたいと思います。

続きまして、建設事業部のほう、その他ございますか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） その他につきまして建設事業部より説明をさせていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課のその他について説明をさせていただきます。

資料の1ページにあります、2、その他、(1)3月議会提出予定議案についてでございます。

令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）について、農地費及び道路新設改良費として実績見込みによる減額、補助事業の追加内示見込みによる増額を予定しております。道路維持費として、補助事業の追加内示見込みによる増額を予定、また林業総務費、土木総務費、都市計画総務費として実績見込みによる減額を予定しております。

続きまして、令和3年度赤磐市一般会計予算について、資料8ページをお願いいたします。

令和3年度の建設課所管事業は、資料のとおりとなっております。

続きまして、令和3年度赤磐市特別会計について、資料の2ページをお願いします。

分譲地に係る一般管理費として107万1,000円、分譲地に係る維持管理費としまして230万4,000円を予定しております。

続きまして、市道路線の認定について、資料の9、10ページをお願いします。

9ページの殿谷54号線につきましては、県道酌田沢原線の改良工事が完成し、旧県道の移管を受けたことによる市道認定、10ページの河田原11号線は、道路が整備されたことに伴い、抜け道として不特定多数の者の利用が増加したことにより、地区からの市道認定要望を受け、赤磐市市道認定基準に関する要項に基づく認定基準を満たしていることによる市道認定をお願いするものでございます。

続きまして、市道路線の変更について、資料11ページをお願いします。

この2路線につきましては、由津里地区の圃場整備事業により道路の付け替えがあったことによる市道変更をお願いするものでございます。

続きまして、資料を戻っていただきまして、2ページをお願いいたします。

地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告についてでございます。

赤磐市奥吉原地内で発生した走行により跳ね上げた鋼製蓋が車両に接触したことによる物損

事故で、倉敷市内男性に対し、被害総額39万5,000円の全額を保険で支払うよう、令和2年12月18日に専決処分しております。

また、10月の産建委員会で報告しました市営住宅の未払い使用料の支払い督促申立てについて、赤磐市内女性から異議の申立てがあったため、通常訴訟に移行となるため、令和2年12月10日に専決処分しております。

以上で建設課の説明を終わります。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） それでは、上下水道課のその他について説明します。

建設事業部資料12ページを御覧ください。

(1) 3月議会提出予定議案について説明します。

まず、令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）について説明します。

4款衛生費については、合併浄化槽設置補助金についてです。実績の詳細につきましては、山陽地域では予定12基に対して実績が5基、赤坂地域が予定19基に対して実績が7基、熊山地域が1基に対して2基、吉井地域が5基に対して3基となっております。過去3年間の実績から割り出した予定数との差が理由で減額補正を予定しております。

次に、4款衛生費については、県広域水道企業団への出資金を実績見込みにより減額補正を予定しております。

次に、令和2年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

収益的収入及び支出、また資本的収入及び支出については、それぞれ増額補正を行う予定です。

続いて、令和3年度一般会計分であります。

資料は16ページを御覧ください。

4款衛生費については、浄化槽設置に係る補助金と水道事業会計への繰出金を計上しています。

6款農林水産業費と8款土木費については、下水道事業会計への繰出金を計上しています。

続いて、令和3年度赤磐市水道事業会計予算について御説明いたします。

資料は17ページを御覧ください。

業務の予定量としては御覧のとおりです。

収益的支出と資本的支出は合計で14億5,738万8,000円、対前年比では1.2%の増となっております。

続きまして、令和3年度赤磐市下水道事業会計予算について御説明いたします。

資料は18ページを御覧ください。

業務の予定量としては御覧のとおりでございます。

収益的支出と資本的支出の合計は31億7,231万5,000円で、0.8%増となっております。

資料が12ページに戻りまして、(2)番、水道管凍結断水についてでございます。

お手元の資料では19ページになります。

1月9日土曜日未明から、表のとおりのでんしい冷え込みで水道管が凍結し、水が出ない、水道管が破裂したなど、市民の方からの通報が市役所へ相次いで寄せられました。市では、1月9日早朝から上下水道課職員に招集をかけ、その後、建設事業部他部署の水道業務経験者など、招集の範囲を広げ、24時間体制で1月14日木曜日まで延べ100人を動員し、復旧、給水活動を行ったところです。宅内での凍結破損、漏水が相当数あり、水道水の供給が窮迫状態となりましたが、1月14日16時には全てが解消され、通常の状態に戻りました。寒波の襲来に備え、広報あかいわ2月号を通じ、水道管の凍結防止について住民周知を図ってまいります。

以上でございます。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 菊地整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） それでは、先ほどのページを1枚めくっていただきまして、20ページを御覧ください。

地域整備推進室より、その他、3月議会提出予定議案について説明させていただきます。

令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）につきましては、決算見込み等による減額を予定しております。

続きまして、令和3年度赤磐市一般会計予算につきまして、8ページを御覧ください。

8ページのA3の建設課と同じものの一番下を御覧ください。

地域整備推進室所管事業の令和3年度の当初予算（案）を載せております。

以上で地域整備推進室の説明を終わらせていただきます。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、資料の21ページをお願いいたします。

建設事業部所管事業の繰越しの一覧表であります。

令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）で、資料のとおり、建設課では6款の農林水産業費で3事業、8款の土木費で2事業、合計の5事業、地域整備推進室では8款土木費の1事業で繰越しを見込んでおります。これら主な理由といたしましては、国の大型補正で財源を確保するため、国庫補助事業を3月補正する予定にしております。これにより事業費を次年度に繰り越して実施するために、繰越しを行うものでございます。

また、課長のほうからも説明をさせていただきました関連工事の影響で、施工時期の調整など、完了時期が翌年度に及んだものもでございます。早期完了を目指して進めていきたいと考えております。

また、上下水道事業につきましては、企業会計のため、3月31日で未完了の案件に係る経費を総括し、6月議会で報告するようにさせていただきます。主な繰越しの理由につきましては、一般会計と同様であります。

以上で建設事業部を総括して繰越しの案件の報告とさせていただきます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） 建設事業部所管関係のその他の説明が終わりました。

課ごとに質疑を受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まずは、建設課所管部分について、委員の皆様方のほうでございましたら質疑をお願いいたします。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ちょっと1点、確認をさせてください。

専決の中の道路の管理の物損事故の件なんですけども、御説明では横断側溝のグレーチングが跳ね上がって損害を与えたと、こういうことなんですけども、今からもう20年近く前に全国的にグレーチングの跳ね上がり大きな社会問題になったことがありまして、その当時の大手のグレーチングメーカーさんなんかいろいろ対応をして、ましてそのときには側溝の跳ね上がりでしたけども、横断なんかで最近グレーチングが跳ね上がるようなことにはなっていないかという認識を私持ってたんですけども、現状横断側溝のグレーチングの跳ね上がり防止対策はしてないんでしょうか、ちょっとその確認。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 跳ね上がりの防止ですけれども、今回跳ね上がった鋼製の蓋につきましては、今一般的なグレーチングというものではなくて鋼材を溶接したようなグレーチングではなくて、ちょっと古い製品ですので、今の跳ね上がり防止対策ができてるようなグレーチングではございません。

現地の跳ね上がった側溝蓋については、溶接を行いまして、もう飛ばないように措置をさせていただいております。周辺の蓋についても、現地を精査して確認させていただいて、異常がないことを確認しております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほか何かありますでしょうか。

○副委員長（保田 守君） はい。

○委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○副委員長（保田 守君） 今のグレーチングの話なんだけど、グレーチングをこう置いて、

車が何台も通るうちに、林道なんかグレーチングが端っただけずれて徐々に動いて、カブかなんか、原付なんかで駆けついたら、タイヤが完全に30センチぐらいの中へぼんと入るような状況になることがあります。そんな部分、前に発見して言うたのが、たしか動かんように今ずれどめをやってもらうと思うんですけど、道路なんかの点検をするときにそのずれを確認するように、道路点検やこうをするときにしてもらえたら。U字溝のを入れてグレーチングをすけとるやつは、たしかずれどめがなかったらずれるんで、そこら辺をね、もし動くようじゃったら今のぶれどめの両方留める、2枚だけ留めたりしたら、その2枚の今度は次の真ん中が開いていったりするから、3枚、4枚入ってますんで、グレーチングの継ぎとにぶれどめのあれを全部留めてしまうとか、動くようなところは確認して、あれが完全に両脇がきっちりしてコンクリートで留まってる中へ入ってるのは動かんのだけど、片一方のコンクリートの留めがぼんとはずれたりしたら、1枚だけのグレーチングが横へ横へ寄っていくというようなことがあるんで、その辺の点検をするときには一緒に見てもらうたら、事故が防げるのではないかなと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（佐々木雄司君） 点検状況について御説明いただけますか。

福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 道路についてはパトロールを実施しておりますので、そういうグレーチングのずれであるとか、そういうことがあれば、ずれを直す等の措置をさせていただきます。そういうところについては、やっぱりこれからもずれる可能性がありますので、ピン等でずれどめをするような形でさせていただきます。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、建設課所管部分についてはこれで終わりたいと思います。

続きまして、上下水道課所管部分につきまして質疑がございましたらよろしくお願ひいたします。

保田委員。

○副委員長（保田 守君） 断水した家は、この数字よりも直接水道屋さんが直しとる部分というたらとんでもない数字になると思うんですけども、本管が破損したようなのは、本管のどいうところ辺が、地中へ埋まってる分はあり得んと思うんで、やっぱりそれは防寒対策ができてなかったのが原因ということですか。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。



○委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） 本管で漏水で破損した箇所につきましては、橋の橋梁部分の裏側とか、それから添架部分、こちらの部分が破損がありました。委員がおっしゃられたように、防寒対策ができていなかった部分、こちらのほうの破損と考えております。

以上です。

○委員長（佐々木雄司君） よろしいか。

そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで上下水道課所管部分について質疑のほうを終わりたいと思います。

続きまして、地域整備推進室、その他の項目につきまして質疑がありましたらよろしく願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで地域整備推進室の部分について終わりたいと思います。

建設事業部、産業振興部、その他の質疑のほうが終わりました。

続きまして、委員さんのほうから質疑がありましたらよろしく願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私のほうから農地中間管理機構のことについてお伺いしたいんです。

というのが、毎年声がだんだんだんだん大きくなって、地権者あるいは地区の方から中間管理機構は何をやっとんかと、要するに農地を中間管理機構に預けても、預けっ放しで中間管理機構が後の処置を全然されないと。見回りにも来ない、そして受けた耕作者は地区の草刈りもしない。まして、私の地区にもありますけど、植えるだけ植えて、要するに稲を刈ることもしないと、そのままほっちらかすとすると、そういうふうな状況を中間管理機構の職員の方は知っておられるのかどうか。

それから、先般私の隣の地区で大変地権者の方が激怒されまして、中間管理機構、地区と、そして耕作をしておられる方と、それから地権者と4者が寄って協議をする場をぜひ作ってほしい、やりたいということ、私も含めて地元の区長さんのほうにひどく強い意向を伝えておられました。そういうことの中で、私は前にも言ってると思うんですけど、要するに中間管理機構が大変そういうのを耕作を受けて後を何もされないということに非常に不信感を持っておると、要するに中間管理機構は何をする目的で中間管理機構へ農地を預けておられるのか、その辺を私はきちっとしていただきたいと。要するに中間管理機構がもっと毅然たる態度で、受けた以上は責任を私は果たしていただきたいと、そういうことについてどういう状況

か、その辺を今後のことについてお伺いをさせていただきたいと思います。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 農地中間管理機構の役割についてという御指摘だと思います。

個々の議案につきまして、今詳細に承知しておりませんので申し訳ございませんが、先ほど御指摘のあったような案件につきまして、農林課の中に就農等支援センター、その中に中間管理機構が常駐しております。この後、そのあたりの情報を農林課のほうで十分捉えながら、中間管理機構の大きな目的でございます農地の集約、有効活用という観点に戻りまして、今後どういうふうに農地の仲立をするべきかということを協議、進めてまいりたいと思います。

また、様々なそういう細かい問題につきましても、行政のほうから拾い上げるように努力をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、私はそういうふうなことを部長からお聞きするとは全く思っていなかったんです。というのが、予算がここへ上がってきとんですわ。予算の話をしたら、今日は審査できませんけど、予算が上がってきて、そのことの中間管理機構の内容のことについて一切把握してない、できない、聞かないと分からない。要するに中間管理機構というのは、どういうふうな組織で、どういうふうな位置づけで仕事をされておられるのか、全く行政と関わりがないということは私はないと思うんです。あまりにも独断的に、何か仕事をされておられるような気がしてならないんです。もう少し中間管理機構の仕事の内容については、私は委員会でもきちんと整理をして報告をいただきたいと思うんですけど、そのことについていかがでしょうか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 農地中間管理機構、こちらの関係の予算につきましても、委員御指摘のとおり、市の会計に載っております。活動につきましても、先ほど申しましたように農林課内の就農等支援センターの中に常駐でおられます。今後そのあたり、活動の内容につきまして十分に積極的に農林課のほうで把握するように努めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、そういうことを私が発言をしたからそうやるというんじゃないしと、そういうことについてはやっていかなければならないんじゃないんでしょうか。予算は出しといてですよ、中間管理機構の仕事の内容については分かりませんじゃ、そりゃあ通らんでしょう。

中間管理機構というのは、私は何人おられるのか、ちょっとよう分かりませんが、何をやって、どういうふうなことをしとられるかということぐらいは把握しておかなければ、私は予算を提案する意味がないと思うんです。そのことについていかがでしょうか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 御指摘の中間管理機構の業務の内容につきまして、先ほど申し上げました。主には農地の仲介による有効活用、荒廃農地の縮減というようなことを目的にしております。同じ答弁で申し訳ないんですが、今後その業務内容につきまして、積極的に市のほうでつかむようにしていきたいというふうに考えております。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） くどくはもう私は申し上げませんが、中間管理機構は耕作される方を請け負って、その耕作者が地区あるいは地権者、そして耕作をしておられる、要するに周辺の耕作者に非常に迷惑をかけておると、もう異常な事態が発生しておるということを私は強く訴えて、これ以上のことは申し上げませんので、よく調整をして、地区あるいは地権者、地域の方に迷惑のかからないように、中間管理機構のほうでよく調整をしていただきたいということを要望しておきます。

○委員長（佐々木雄司君） 答弁は……。

○委員（佐藤武文君） よろしい。

○委員長（佐々木雄司君） 要望で、はい。

○委員（佐藤武文君） もう今日はできんと思います。

○委員長（佐々木雄司君） はい、分かりました。

そのほか、委員さんのほうで、その他項目、何かありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

最後になりますが、本日の委員会中、企業名等の発言がございました。会議録につきましては、後日内容を確認させていただいて対応させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、これで閉会したいと思います。

お疲れさまでした。

午前11時39分 閉会